

1 調査日 平成22年7月30日(金)

2 調査の概要

(1) 科学捜査研究所(大津市唐崎一丁目)

科学捜査研究所は、事件や事故現場の様々な資料の分析による犯行の手段・方法や事故原因の究明、犯人像の絞り込みなど、事件の解決のため、主に法医学や生物学、化学、薬学、電気や機械工学、心理学等の科学的な専門知識を応用して鑑定、検査に取り組んでいる。平成21年度補正予算でも、新たな機器整備等を進めていることから、そうした施設、機器の機能や効果とともに、研究所の取り組み状況について調査を行った。



(2) 南部水道事務所(吉川浄水場)(野洲市吉川)

吉川浄水場は、南部上水道供給事業および南部工業用水道事業との共同施設となっており、昭和53年に用水の供給を開始し、現在、湖南地域の5市に水道用水と6市1町に工業用水を供給している。平成23年度の南部上水道供給事業と東南部上水道供給事業との統合に向け、吉川浄水場ではその中核としての施設、設備の整備が進められており、その取り組みの概要と状況について調査を行った。



(3) 河瀬中学校・河瀬高等学校(彦根市川瀬馬場町)

河瀬中学校・河瀬高等学校は、平成15年度から併設型中高一貫教育校として特色あるカリキュラムのもとで魅力ある学校づくりに努めている。また平成21年度から文部科学省の「確かな学力の育成に係る実践的調査研究」の指定を受け、学力の向上に取り組んでいるところである。中高一貫教育制度導入から8年目を迎え、同制度での卒業生も輩出しており、こうした取り組みの状況について調査を行った。

